

SSH校外研修 事前講義を受けました。

＜6月30日・7月1日の白滝ジオパーク巡検を前に＞

去る6月16日(火)に、北海道教育大学旭川校の和田恵治先生(火山学)から、理数科2年対象のSSH校外研修(白滝ジオパーク巡検)の事前講義を受けました。前半は今回研修のメインの題材の一つである黒曜石を中心にお話がありました(写真1)。白滝の黒曜石は全国的に見ても質量ともにトップクラスで、実際に現物の石に触れ、その感触を味わいました(写真2)。後半は面白い実験を見せて頂きました。今まで触れていた黒曜石を電気炉で1000℃以上に加熱すると軽石に早変わり？(写真3・写真4)。石の中に水が含まれていることが良く理解できました。その他、日本の火山の特徴、特にカルデラ形成や破局噴火についてのお話(すごい表現ですね^^; そう言えば、最近口永良部島や浅間山等、火山噴火が多いです)や火砕流のモデル実験の演示(写真5)など充実した時間が流れ、来る研修にモチベーションが高まりました。



写真1

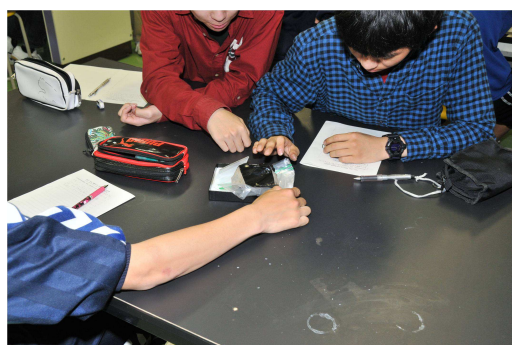


写真2



写真3

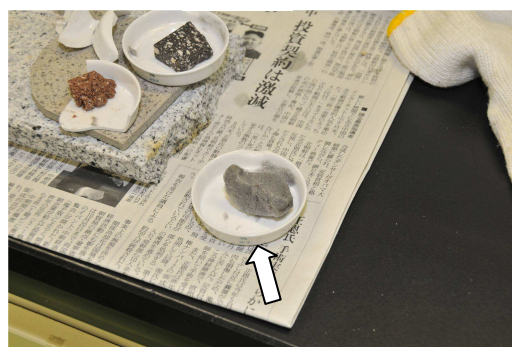
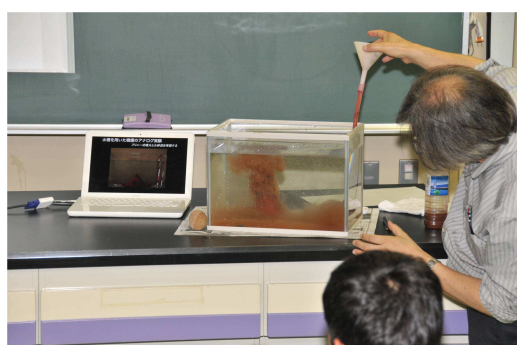


写真4 黒曜石が軽石のように中がすかすかに



水よりも密度の大きい液体を流し込み、火山の噴煙柱の形成と噴煙柱の崩壊による火砕流を再現したモデル実験！

写真5